

令和 5 年度第 3 回地域別部会における主な意見

地域別部会	主な意見
県北地域別部会 (R5. 12. 15) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村 ・ 岩手県北自動車 ・ 県北広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三セク鉄道、バスの一人当たりの年間利用回数の指標については、新型コロナにより減少した利用者は 8～9 割程度の回復であるが、5 年後を見据えれば、現在の目標値は達成できない数字ではなく、それほど現実離れしているものではないと考えている。
盛岡地域別部会 (R5. 12. 19) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手運輸支局 ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 岩手県北自動車 ・ ジェイアールバス東北 ・ 盛岡広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三セク鉄道、バスの一人当たりの年間利用回数の目標値については、現状は、運賃収入ベースで新型コロナ以前の 80%程度まで回復しており、そこまで高い目標とは考えていない。目標の達成に向けて、事業者支援や利用促進策を実施いただけるものと期待している。 ・ 目標値なので高い設定で良く、達成できない目標値ではないと考えるが、ここ数年で路線の縮小も進んでおり、定期利用に下支えされた令和元年度の数値を上回することは厳しいのではないかと。 ・ 幹線路線が廃止となると、接続する地域内公共交通の運行が難しくなる路線もあるため、路線の見直し等に当たっては、地域内交通に与える影響も考慮してほしい。
沿岸地域別部会 (R5. 12. 20) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 岩手県北自動車 ・ ジェイアールバス東北 ・ 沿岸広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後市町村でのデマンド交通の導入等が増えていくと考えられる。デマンド交通等の地域内交通は市町村の役割であると思うが、県としても市町村を応援するという方向性を明確に記載できないか。 ・ 指標の達成率が容易に分かるように、記載を工夫できないか。 ・ 国で検討を進めているライドシェアの動向を記載しなくてよいのか。
県南地域別部会 (R5. 12. 21) 出席者： <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手運輸支局 ・ 市町村 ・ 岩手県交通 ・ 県南広域振興局 ・ 交通政策室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナの 5 類移行の後、観光客の回復に伴って二次交通確保が大きな課題となっていることを考慮してほしい。 ・ 運転士の確保の記載について、バスが中心となっているが、市町村としては、タクシー運転士の確保も大きな課題となっている。 ・ 目標を実現していく体制づくりの中で、研修会の開催が挙げられているが、計画の策定だけでなく、推進の部分の支援にも取り組んでいただきたい ・ ライドシェアについては、現在国で検討中であり、明確な制度が示されるまでは時間がかかると思われるため、今年度策定する計画に盛り込むのは時期的には難しいのではないかと（国）。